

〔赤嶺奈津江議員 登壇〕

○12番 赤嶺奈津江さん それでは、令和元年最後の一般質問になりますので、是非ですね、いい答弁をいただいて終わりたいと思います。是非、かなりきょうはファイヤーといいますか、熱のこもった一般質問が多いですので、私は落ち着いていきたいと思いますのでよろしくをお願いします。大きい問い3点になりますが、1点目から3点目まで一括で質問して、再質問から一問一答で行きたいと思いますのでよろしくをお願いします。

1. 防災・減災に向けた対策を問う。(1) 要支援者の避難計画の状況はどうなっているか。(2) 支援物資供給マニュアルはどうなっているか。(3) ペットを守る対策はどうなっているか。(4) 観光客への対応、受け入れ態勢はどうなっているか。(5) 備蓄食糧の有効活用をしてほしいが現状はどうなっているか。

大きい問い2. 確定申告の各自治会への対応について。(1) 今年度の確定申告は、役場庁舎での受付のみと聞いている。確定申告をしっかりとやっていただくためにも、自治会から要望があれば送迎バスの運行をするべきと思うがどうか。

3点目、東京オリンピック・パラリンピックに向けた、本町の取り組みを問う。(1) いよいよ、東京オリンピック・パラリンピックが来年行われます。各競技でのキャンプ誘致などが行われているが、本町でも誘致活動は行っているか。また、キャンプ地として要請はないか。(2) 平成30年第3回定例会でも一般質問でとりあげたが、本町の特産品をオリンピック・パラリンピックでアピールできるような取り組みは行っているか。以上、3点よろしくをお願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 では、質問事項1点目の防災・減災に向けた対策を問うの(1)についてお答えします。現在は、医療的ケア児を優先して個別支援計画を作成しております。

(2)についてお答えします。支援物資供給マニュアルについては、町地域防災計画にて、物資確保や調達方法、供給対象者、食料供給活動等について明記されております。なお、飲料水は南部水道企業団が東部消防の協力を得て確保、供給することとなっております。食糧に関しては総務課が備蓄食品や食糧加工業者、スーパー等から食品、食材、粉ミルクを町が調達、供給し、生活必需品は、こども課が被害状況の把握、物資の配分計画を行うこととなっております。また、本町に送付された義援物資や金品についても配分計画に基づき被災者へ支給する計画となっております。

(3)についてお答えします。町地域防災計画において、災害時のペットへの対応がうたわれており、同行避難を推進しております。避難所敷地内にペット専用スペースの設置に係る設備等において、獣医師会や専門家のアドバイスを受け、連携を図りながら緊急時に備えたいと考えております。

(4)についてお答えします。災害時の観光客対応としては、本町避難所にて受け入れることを想定しております。また、今年度災害時の観光客を支援するために多言語避難誘導マップの整備や情報取得・意思疎通を図るための翻訳タブレット、ちむぐくる館へのWi-Fi整備、観光客用の備蓄品整備に取り組んでおります。

(5)についてお答えします。備蓄食糧に関しては、賞味期限が近くなったものから自治会でのイベン

トや訓練、出前講座などの場を活用し、防災啓発を図るために使用しております。

質問事項2点目の確定申告の各自治会への対応についてお答えします。令和2年度の住民税及び確定申告により、「長時間待たせない、早い申告」の実施、特定個人情報漏えい防止等、申告対象の町民全体のサービス向上を目的として、役場庁舎での受付となります。自治会と役場庁舎間での送迎バスの運行については調査、検討した結果、難しいと考えております。

質問事項3点目の東京オリンピック・パラリンピックに向けた本町の取り組みの、まず(2)についてお答えいたします。町の特産品である南風原花織、琉球かすりをアピールできないか併組合と調整いたしました。アピールできる商品開発には時間と費用等が必要なことから、現在取り組みは行われておりません。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項3点目の東京オリンピック・パラリンピック関連の(1)についてお答えいたします。現時点で7人制ラグビーアルゼンチン代表チームが合宿候補地として視察に訪れています。沖縄県を通じてアルゼンチンラグビー協会と調整しており、誘致が成功すれば12月中に決定となる予定です。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん それでは再質問をさせていただきたいと思います。大きい問いの(1)、現在医療的ケア児を優先してということではありますけれども、そうであれば、どちらかといえば先天的に障害をお持ちの方、子供からということになると思いますけれども、実際、近年では中途障害を負われる方も多くいらっしゃいますけれども、そういった方々も要支援の対象者として見ているのか。どういう形で要支援者として定義を持っておられるのかを確認したいと思います。

○議長 知念富信君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん ではお答えいたします。避難支援個別計画の要支援者の対象になっているのは、介護認定を受けている高齢者の中で日常生活自立度がB、C、そして認知症高齢者の日常生活自立度が3以上に該当する方、そして視覚障害者1級、2級、身体障害者手帳を所持されている方、下肢障害者及び体幹機能障害1級で身体障害者手帳を所持されている方、内部障害のうち呼吸機能障害1級で身体障害者手帳を所持されている方、あと精神障害者保健福祉手帳1級を所持している方、療育手帳Aを所持している方、あとは65歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者のみで構成されている世帯の方々となっております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。そうであればかなり重い障害をお持ちの方じゃない

と要支援者にならないということになるんですけれども、実際、中途難聴で防災無線も聞こえないという方もいらっしゃいますし、高齢者になると耳がかなり遠くなったりとかもいらっしゃいますけれども、それが早く来て、結構耳が遠いと。特に暴風の際とかは全然防災無線が聞こえないという方もいらっしゃいます。そういった中で障害手帳をお持ちの方が前提と先ほどおっしゃっていましたが、1、2級がほとんどだと思いますけれども、実際、申請窓口は町の窓口を訪れて申請されると思うんですけれども、そういった方々以外にも家族と一緒に住んでいない方とかいらっしゃると思うんですね。そういった方々のことを考えれば、受付の窓口の時点で支援が必要なかどうか、そういったときにはどういう対応をしたほうがいいのか。また自治会への支援が必要である場合には、自治会にこういう方々がいらっしゃるの協力をお願いしますとお知らせをすることをやっていいのかどうかの確認が窓口でできるかどうかお伺いしたいと思います。

○議長 知念富信君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん お答えいたします。直接窓口にはいらっしゃる方がご本人でない場合もありますけれども、直接窓口で同意が得られる方は窓口でできる方法で、あともし窓口でできない方の場合はいろいろ障害者関連の通知に同封して同意を得る方法も含めて、同意を得るような取り組みをしていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、郵送とかということだけではなくて、今回の一般質問は結構SNS、LINEとかの活用等、キャッシュレスとかいろいろ取り上げられていますけれども、せっかく町のLINE公式アカウントもありますし、そういったところから、特に聴覚障害をお持ちの方であれば防災無線も聞こえませんが、各電話会社のほうから、各自治会から発信される防災のメールがありますけれども、それだといろいろな地域から入ってくるのでトラブルになりかねないんですね。であれば、町のLINE公式アカウントを登録してもらって、そういった聴覚障害の方々に案内をかけて、今回こちらが避難場所になっていますとか、避難訓練がいつありますとかという案内をかけることもいいのかなと思いますけれども、そういったLINEの登録を窓口で案内することもやったほうがいいのではないかと思います。いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん ご提案ありがとうございます。障害者への災害時の情報伝達手段としては有効な方法と考えておりますので、LINEの南風原町の公式アカウントの登録の周知については、積極的に取り組んでいきたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 今回LINEが公式アカウントがあるということで、LINEでやっていますけれども、いろいろな発信方法で目にする、視覚が悪い方は耳に入るといような施策をとっていただいて、是非多くの方が災害時にはすぐ動けるとか、何か手助けが必要などときにはお願いできるとかという形をとっていただきたいと思います。また相談窓口の案内も、是非障害手帳をまだ申請してなくても、申請途中とかいろいろな状態の方がいらっしゃると思うんです。そういった方々へ不安材料を払拭するとか、相談を受けてもらうという形で案内する窓口はどちらになるでしょうか。

○議長 知念富信君 保健福祉課長。

○保健福祉課長 大城美恵子さん 保健福祉課の、高齢者であれば地域包括支援センター、障害とまでは行かなくても、そこら辺の相談であれば社協のコミュニティソーシャルワーカーとかも相談窓口となっております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。是非そういった形で、相談を受けたい方への案内等も、是非ホームページ、公式アカウントを使って発信していただきたいと思います。大体、いろんな形で相談されたい方はどこに行ってもいいかわからないから相談ができないというのが多いんです。最初の一步を踏み出せない、最初、電話をすることができないことが多いのが事実ですので、そういった方々に目で見てどこに行けばいいんだという案内がすぐできるような形で是非体制をとっていただきたいと思います。

(2)の支援物資供給マニュアルのほうですけれども、実際、総務課とこども課がメインで動くことが多いのかなというふうな受けとめられるんですけれども、生活必需品ということでこども課のほうが上がっていますが、生活必需品として、町として捉えられているものは何がありますか。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 お答えいたします。現在、生活必需品として考えているのが衣服、寝具、炊事用具、食器、日用品及び光熱の材料と考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 実際、東日本大震災の後、仙台市のほうで備蓄品の見直しを行ってかなり量がふえたものが、幼児用のおむつ、大人用のおむつ、生理用ナプキン、お尻ふき、トイレトペーパーが備蓄品としてかなりの量をふやしたということであります。実際、南風原町は、次の観光客を対象に受け入れということにかかわるんですが、交流人口が多い地域でもありますし、また海にも面していないということで避難してくる方もあり得るところでは、備蓄品に関してスーパー等で協力いただくとか、イオンとの提携もありますけれども、そういったところで確保できる数というのはある程度確認し

ておかないと。特に今、幼児がふえてきて保育園も足りないような状況でもありますし、そういったところでは数の確認をある程度するべきだと思いますけれども、どのように対応を考えていますでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 議員おっしゃるとおり、最大災害時には事前の対応が必要だと思います。我々、町の自身の備蓄品の確保について、数については把握していますが、その対応も今後、どのようなところからどのようにということ詳しく把握をしながら、計画を立てて進めていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、避難所の中では、特に女性は生理用ナプキンの配布の方法が問題になったりとか、おむつの数、また体調不良になると子供たちは下しやすくなったりとか、いろんなことがあって数が足りないとか、高齢者も声に出しにくいとかもあって、なかなか難しい問題と言われているので、そういったところにどういうふうに供給していくか、提供していくか、全体にどれぐらい配布できるのかということも、やはり考えないといけないと思いますので、是非その点は早く把握して、把握というか、提供いただけるところとか、今ドラッグストアとかがかなりふえていますけれども、そういったところに協力をお願いできるのか。その辺も含めて確認をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 我々、物資につきましては、前回みゆき委員からも提案がありました液体ミルクについても、総合事務局の補助を活用して変更申請をしているところであります。また今、奈津江議員から提案のありました各種、生理用品等についても今後整備していくよう、計画的に進めていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。今、海外からのお客様も多いですし、また小さい子を抱えているご家庭も、南風原町はかなり多いですので、いろんな方が入ってくる中では他地域とも違う、必要なものが出てくる可能性もありますので、そういったところでも是非情報収集なりをして、日本国内だけじゃなくて、海外でもどのような対応があるのかも含めて情報を収集していただきたいと思えます。

次(3)に行きたいと思えます。ペットを守る対策ということで、答弁のほうでは避難所の敷地内にペット用スペースの設置ということでもありますけれども、実際、全避難所が対象になるのか。このペット同行避難ですね、なるのかどうか確認したいと思えます。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 我々の防災計画については、同伴避難をうたっておりますが、ただ、避難所の場所について規模とかいろいろありますので、これは課題であります。実際にペットをどうするのか。役場庁舎でも6階が避難所になっていますが、そこで6階に置くのはできませんので、具体的にどこにするのか、どうしたほうが試行錯誤しながら、今検討をしている段階であります。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。きのうみゆき議員からドッグランの話がありましたけれども、私は桁下もいいなと思いました。なぜかといいますと、今は番犬という扱いの犬は少なく、保護犬で保護をされた犬も譲渡の際には室内で飼うようにという指導があります。そういったところからいっても雨風、できるだけ除けられる場所で避難させるというのが前提にありますので、またアレルギーの方もいらっしゃるの、必ずしも一緒に同行できない状態になる可能性もありますよね。きのうの時点で犬だけでも1,000匹以上ですので、また猫だったりとかほかの動物を飼われている方もいらっしゃいますので、そういったところからすれば、できればドッグラン等を設置していただければ、そういうところに避難をさせると。ケージは自宅から持ってくることを前提にとか、いろんなことを想定できると思うんです。そういったところも含めれば、ドッグランがあれば予防接種等も受けないと入れないという前提がありますので、そういう指導にもつながるのかなと。自治体の義務といいますか、事前の準備というところではそういう指導もするようにとありますので、その辺も含めてそういった活用も検討してはいいのではないかなと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 ドッグランについては我々の範疇ではなく飛躍し過ぎますので、災害時のペットの避難ということでいろいろ多角的に検討してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん きのうの答弁を受けてからのドッグランですので、あまり深く追究ということではありませんけれども、前提として、避難所としてまだできていないわけですから、そういうことも含めて検討していただければ、前提として指導もできる、避難もできるという施設があればいいなというところでの提案ですので、是非ですね、きのうの答弁、犬の予防接種については指導ですね、登録等は飼っている方は必ずやっているという前提でのお話でしたけれども、実際、預かりという方もいらっしゃるんです。その地域で今保護犬を預かっているだけで登録を前提にされていない方もいらっしゃるの、そういう方々も含めてどういうふうに案内を付けていかとか、中には登録をし忘れていらっしゃると思いますので、そういう方々に対する指導も含めれば、是非そういう機会を設けるのも大

事かと思いますので、是非このペットの避難については、地域の住民の方々の要望とか、どういうふうにあってほしいかというのを聞いていただけたらと思えますけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 全国的にも災害に対しての防災、災害の対応について非常に関心が持たれて、早急に対応しなければならない状況がありますので、ペットについても全国的にも興味、関心が高まっています。そのために南風原町としても災害防災計画、全体の中でペットに対する対応も検討してまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。近くには愛護センターだったり獣医師も南風原町には何カ所かありますし、相談といいますか、いろんなパターンで考えられること、相談できることがあると思えますので、是非早急な対応をお願いしたいと思います。今、地震が起こった場合何も対応策がないということですから、ほかで地震があつて、津波とかですね、そういうときにこちら側では対応策が何も無い状況ですので、早急に対応していただきたいと思えます。

(4)の観光客への対応受け入れということで、先ほどの2問目でも話したんですが、意思の疎通等を図るために翻訳タブレット等を今後導入するというので、11月でしたか、国のほうからあったと聞いていますけれども、観光客受け入れに対するもの。観光防災強化支援事業ということで、南風原町は742万円ということで新聞にも報道されていまして。総合事務局のホームページにも載っていましたが、実際、今、3つの高速インターチェンジ、また南部東道路のインターチェンジが来るだろうということで、4カ所になるということは災害時には高速に乗っている方がおりて、南風原で避難ということも多く考えられますので、是非多言語のものとか、反対にこちら側から町外に出ていて避難されているという方もいらっしゃると思うんですけれども、実際この把握というところでは、把握といいますか、観光客が何割ぐらい入っても大丈夫とかという想定はありますか。受け入れとして、たくさん来ても入らなかつたら困りますよね。南風原町民が何割ぐらいで観光客が何割ぐらいという想定を持っているとか、想定はしてはいけないのかもしれないですけども、こういった災害のときにはですね。どういうふうを考えていますか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 外国人の観光客に対しては、9月の補正で翻訳機能付きのタブレットを13台予算計上して、今、契約の準備をしているところであります。また観光客の避難については、実際去年も台風の災害時に足どめをくらってちむぐる館などに避難をしたという実績もあります。ただ、各施設で観光客何名、町民何名ということではなくて、各避難所で受け入れ態勢ができる人数については受け入れをしていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。実際、日本の避難所はおくれているといわれていて、海外だと各仕切りがテント状になっているとか、プライバシーの保護といいますか、プライベートがちゃんと確保できるような形になっていますけれども、海外から来られた方は言葉も通じない、それでいて心もとない中での避難になるので、是非避難されてくる方が安心して過ごせるような環境を私たちもつくらないといけないんだろうなと思いますけれども、実際、避難訓練は日中ですよ、夜ではなくて。首里城のときでも問題になりましたけれども、夜間の避難訓練、海外の方が来た場合のタブレットの使い方、夜眠るときの態勢づくりとかそういったこともやるべきではないかと思っておりますけれども、いかがですか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 あらゆる災害に対応して訓練すること、事前に対策をすることは非常にいいことだと思います。本町においても各自治会主体の訓練等、防災、災害等の訓練は今年度も行っております。また本町でも北丘小学校の階段ができた後は避難訓練を考えておりまして、今後も引き続きいろんな災害を想定した訓練を実施していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 実際、県外のほうでは夜間の訓練ということで、体育館にマットを敷いて、寝られる態勢をつくるのに、中学生、高校生が多くかかわってお年寄りを避難、案内したりとか、自分たちで考えて動くということをやったということもありますので、是非全町を挙げてそういう訓練はやっていただきたいと思っております。今後、北丘小学校の階段ができた際には避難訓練をするということですので、いろんなパターンを想定して是非やっていただきたいんですが、どうでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 安心、安全に防災対策はしっかりしていきたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 是非いろんな方を想定して、また備蓄品を含めて観光客の方が安心して沖縄に来られるような状況を、環境をつくっていただきたいとお願いしてこの質問は終わりたいと思っております。

備蓄品の有効活用についても、先ほど言いましたように夜間のものを含めて、朝食、昼食、夕食と3パターンでどういう形で食事を提供できるのか、炊き出しも含めてですね。1食だとこれで終わりになってしまうんですが、朝ご飯をどうしようかとか、朝起きて誰がつくるのかとか、そういうことも含めてやると自分たちで考えて動ける態勢づくりになっていくのかと思っておりますので、是非そういう備蓄品を使っ



た訓練をやっていただきたいと思います。また、今事例があれば紹介していただきたいんですが、どうでしょうか。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午後3時45分）

再開（午後3時45分）

○議長 知念富信君 再開します。総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 お答えいたします。今、活用している部分では自治体が行っている防災訓練や炊き出しの訓練、あと防災のイベントが行われています、そちらと。あと児童館のほうで防災の啓発事業が行われていまして、そちらのほうでも利用しています。町主催の防災訓練、また学校のほうでの防災の出前講座を行っていますけれども、そこでも炊き出しのほうに提供をしております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。是非、自治会がやったものについては区長会なりで案内をかけて見てもらったりとか、いろんな情報を共有しながら使うときに戸惑わない。ちゃんと消費もできるというところでの活用は必要だと思いますので、そういったところはよろしくお願いします。

大きい問い2番目に行きたいと思います。今年度の確定申告は役場庁舎内ということで、情報の入力等も含めて、対応するためにはそれが必要と聞きましたけれども、実際、今バスが廃線になったり、かなり不都合といいますか、住民の方がなかなか役場に来にくい状況にありますので、そういうところも含めれば、各自治会でできなくなった分は要望があれば応えるような努力は必要だと思いますけれども、実際、調査、検討して無理ということではありますが、どのような調査をして、どのような検討をして、その結果に至ったのかをお聞かせください。

○議長 知念富信君 税務課長。

○税務課長 大城あゆみさん 今回の申告、受付全体の見直しの中で各字公民館での申告会場の廃止を検討した際に、公用車での職員による送迎についても検討したんですけれども、申告会場での人員を確保するために、また送迎に充てる人員確保が厳しい状況ということになっています。また申告期間中のみ、南風原町社会福祉協議会の福祉バスのルートに役場を入れることができないかという調整も行ったんですけれども、健康増進室利用者のためのバスで目的外利用になるということで、対応は難しいという結果になりました。以上です。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん かなり住民には優しくない事業になっているなというのが実感であります。申告いただいて、税金を納めていただくのに来てからやりなさいはちょっと失礼ですと私的には思うんです。実際、もし車がない、移動手段がない方であればタクシーに乗ってわざわざ役場に来て申告をして、またタクシーに乗って帰らないといけないわけですね。乗り合いで来られればいいんですけれども、なかなかお互いの調整ができなかった場合には、高齢者の方がそういった形で来るかと言われれば、かなり厳しいんじゃないかと思うんですね。自治会に協力依頼をするのであれば、自治会に協力依頼をするなりすればいいと思うんですけれども、そういった形で自治会に協力依頼とか、新川は今別の事業があって買い物の車を提供する事業があって、お願いすればどうにかなるということであるんですけれども、実際そういった事業を立ち上げてやってもらうとか、そういうことも含めて…、各自治会での健康診断もなくなったわけですから、そういうことも含めて案内するための移動手段の提供といいますか、提案型でもいいですので、そういうことも含めてやるべきだと思いますけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 こちらのほうは自治会が判断して、実施するものですから、我々がやってくれというふうにはいかないのかなと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 別のことをやってというのに、こういうことではやってと言えないんですか。やってと言わなくても、できませんかという提案は、こういう事業がありますよという案内ぐらいはできると思うんです。そういうところでは協力依頼ということで、できないではなくて、提案はしてみますぐらいはしてもらわないと、おかしいですよ。おかしいです、本当に。委託している事業なんです。それから言えば、ちゃんと住民のサービスを考えれば確定申告、私は健康診断も聞いてショックだったんですけれども、そういうことも含めて提供の案内ですね、事業を含めてこういうこともできますけれどもどうでしょうという提案型はやっていいと思うんです。いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 区長会を通して提案していきたいと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 実際、今いくら財政が厳しくても、バスの運転手が少なくてバスが廃線になって、移動手段もなくて、高齢者が運転すると批判されて、居場所がなくなっていきます。そういう中ではやって、やらないといけない事業というのはそこで出てくると思うので、そういうところでは是非検討してできるようにやっていただきたいとお願いしてこの質問を終わりますので、是非前向きな対応をお願いします。

3番の(1)に行きたいと思います。ラグビーのほうから今打診が来ていると。沖縄県を通じて来ているということですが、この誘致に関しては町独自で行うものなのか、県を通してしかやらないものなのか、お伺いしたいと思います。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん 答えします。これは県の文化観光スポーツ部のスポーツ振興課が主管しておりまして、スポーツコンベンションの誘致戦略の中に入っております。県のほうが業務委託をしているところがありまして、そちらを通じて私たちはやりとりをしているところです。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。アルゼンチン、南米ですので南風原とも縁がある地域だと思いますので、是非決まったらいいなと私的には思いますが、こちらはどういうふうになるかまだわからないということです。南風原町はオリンピックに関して全然…、(2)とも共通するんですが、何も関係しない、日本で行うオリンピックに何も関与しないというよりは、何か一つでもかかわるべきだと思いますけれども、その中でこれが決まらなかった場合には次はないという状態になるのか、確認したいと思います。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん 私たちもその点については県のほうと相談いたしました。もし、今回のアルゼンチンのほうが誘致できなかった場合についても、まだ決まっていない種目、変更によってまた来たいというところがありますので、そちらもまた今後は検討していかないといけないと思っております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 実際、オリンピックの誘致の際には県からの助成金だったりがあるのか、アルゼンチン側だけの負担なのか、町としても負担しないとけないのか、どうでしょうか。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん 経費につきましては、県のほうがアルゼンチン側、連盟側、来るチームに対しての補助金があります。その中には航空運賃とか滞在費とか、こちらに対する利用料、そういうものも含まれますので、私たちのほうからは実際のお金は出ないと考えております。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。どのチームが来るのか、別のチームが来るのか、違う種目が来るのか、また来ないのかもわからない状況ですけれども、是非、何か一つの競技でも来てもらったら南風原町もオリンピックにかかわる事業があるんだということで、地域の子供たちの活性化といえますか、スポーツに対する見方とかも、今ラグビーは盛り上がっていますので、教育長はラグビーをやっていたのでかなり思い入れはあると思いますけれども、そういうところからも関心を持つ、今、日本の子供たちがラグビーにかなり注目しているということで代表選手の方も感動して泣かれているシーンが出ていましたけれども、そういうふうにしてその種目に、身近になかったものが近くに来ることで新しい理解を得て、またスポーツに関心を持つということも出てくると思いますので、是非オリンピック、パラリンピックに向けた取り組みを今後も続けていただきたいと思います。

(2)に行きますけれども、かなり残念なことに花織とかすりのほうはアピールできるようなことはいないと、残念ではありますけれども、新しい商品でなくても、もし別のスポーツチームが来るにしても、キャンプで来るとかそういうときにはかすりを飾るとか、そういうことができると思うんです、アピールとして。取材には来るわけですから、いろんなところから。そういうことも含めればいろんなかかわり方、アピールの仕方はあると思います。費用をかけないという言い方はおかしいかもしれませんが、開発にお金をかけるのではなくて、展示とかそういうもの。五輪ですので、五輪にかけた色のかすりを飾るとか、そういうことを含めてできるのかなと思います。そういうところからすればかすりだけでなく、いろんな地場産業、農業の部分でも、食材の案内とか展示とか、見えるような形で、その種目を見に来る人、観客に対してもアピールできるようなブースをつくれれば、それで私はアピールになると思うんですけれども、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 かすりの件についても、かすり組合は新商品については取り組んでおりませんが、既設の製品とか事業については力を入れたいということでもありますので、今議員からご提案あったような形で既存の製品といえますか、そういうものはかすり組合としても、そういう機会があれば、既存のものを利用して力を入れてやりたいということですね。そのような形で進めたいと思います。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん 今、かすりと花織とか、併組合を中心とした発想でいわれていると思いますのであれですが、いろんなお菓子等も含めて、いろんなことを含めて検討していただいて、南風原町を発信すると、コマーシャルする手間が省けるわけですから、そのときには。そういうところでふるさと納税の案内につながったり、そういうところも含めればいろんなアピールの仕方ができてくると思いますので、是非前向きに対応していただきたいと思いますが、いかがですか。

○議長 知念富信君 産業振興課長。

○産業振興課長 金城克彦君 現在もサッカーでキャンプに来た場合、商工会のほうで物産展というような、以前は大きくやっていたんですけども、今はるんるん南風原展、規模を小さく、コンパクトにやっていますので、そういう形で町がというよりは、今回はこういう形で、商工会がやっているものを、モデル的なものを参考にしながら、今後は商工会とかと連携してこういうことができる場があれば取り組んでいきたいと思います。

○議長 知念富信君 12番 赤嶺奈津江議員。

○12番 赤嶺奈津江さん ありがとうございます。せっかくの機会ですので、日本でやるのは次いつになるのかわからないオリンピックですから、そういうところでは是非乗っかるという言い方は失礼かもしれないですけども、そういうイベントごとにかけて南風原町をアピールするという機会にしたいというふうをお願いして、これで一般質問を終わりたいと思います。ちゃんと4時前に終わりました。これで終わります。